

中期経営計画における経営目標・経営指標の進捗状況

法人名等	目標の内容・実績			
【法人名】 公益財団法人 埼玉県消防協会	目標	住宅用火災警報器設置推進指導員の養成人数 【令和元年度目標】 受講者数 220人 【令和2年度目標】 受講者数 220人 【令和3年度目標】 受講者数 220人	防災講演会参加者数 【令和元年度目標】 2回の講演会 420人 【令和2年度目標】 2回の講演会 440人 【令和3年度目標】 2回の講演会 460人	消防団員の入団促進 【令和元年度目標】 県内団員数 14,260人 (内女性 720人・学生 230人) 【令和2年度目標】 県内団員数 14,330人 (内女性 750人・学生 270人) 【令和3年度目標】 県内団員数 14,400人 (内女性 780人・学生 310人)
	各年度の実績	【令和元年度実績】 受講者数 199人 【令和2年度実績】 受講者数 0人 【令和3年度実績】 受講者数 194人	【令和元年度実績】 2回の講演会 382人 【令和2年度実績】 2回の講演会 0人 【令和3年度実績】 1回の講演会 117人	【令和元年度実績】 県内団員数 14,039人 (内女性 732人・学生 237人) 【令和2年度実績】 県内団員数 13,934人 (内女性 733人・学生 222人) 【令和3年度実績】 県内団員数 13,763人 (内女性 727人・学生 228人) <各年4/1人数>
	法人による自己評価	令和元年度は目標値を下回り、令和2年度は緊急事態宣言等発令により開催を中止した。令和3年度は、Web研修に変更したが目標値を下回った。 住宅用火災警報器は、平成23年に設置が義務化されたが、当県は全国平均より設置率は依然低い。また、当初設置された機器は、電池の交換時期を迎えており県民への周知が必要である。 今後も、市町村消防と共に火災による死傷者の減少を目指して事業を推進し、養成者の増員を図っていく。	令和元年度は目標値を下回り、令和2年度は緊急事態宣言等発令により開催を中止とした。令和3年度の第1回は対象者を限定して開催したが、第2回は開催直前にまん延防止等措置命令が発令されたため、急遽中止とした。 本事業は、県民の防災意識の向上を目指すものであることから、毎年、地域を限定して県内2ヶ所で開催している。 今後も開催地と開催時期や開催方法等について、よく調整して実施していく。	各年度とも目標団員数を達成することができなかった。 全国的に消防団員数は減少しており、当県においても同様である。 今後も、女性消防団員及び学生消防団員を含めた消防団員の増員に向け、県及び市町村と連携を図り、様々な機会をとらえ募集活動を行っていく。